

祝 学校情報化優良校認定！

【潤徳小学校】・【滝合小学校】



2016年「学校情報化優良校」認定
日本教育工学協会 学校情報化認定委員会

現在、日野市の小・中学校が続々と「学校情報化優良校」に認定されています(15校:11月28日 時点)。今回は上記2校のエビデンスをご紹介します。

申請時エビデンス(提出資料)一部:潤徳小学校

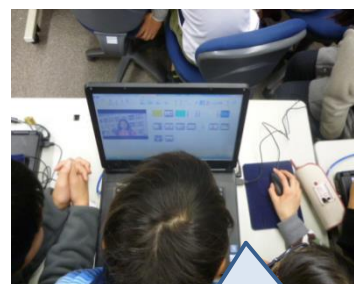
に教師のICT活用
指導場面



児童・生徒のICT活用による学習場面①



児童・生徒のICT活用による学習場面②



【算数】授業の導入で具体物を操作する様子を書画カメラで映して示しています。

【図工】デジピークチャーキップというソフトを使い、絵を描いています。

【国語】デジタルカメラで撮った動画をパソコン教室で編集しています。

学校長より:竹山弘志 校長

今回、学校情報化優良校として認定されたことで、さらにICTを活用した児童主体の学習環境づくりをめざしたい。また、タブレット等の導入により、児童の学習の幅と活動範囲に広がりが見込める。

担当教員より:清水翔 教諭

この度は学校情報化優良校に認定していただき、とても嬉しく感じています。今後も日常的なICTの活用を啓発し、児童の意欲や学力の向上を目指していきたいと思っています。

申請時エビデンス(提出資料)一部:滝合小学校

に教師のICT活用
指導場面



児童・生徒のICT活用による学習場面



PC教室のICT環境



【理科】タブレットPCを使用。昆虫の名前をキーワードに検索し、信頼できるページかどうかを教師が判断する。

【算数】ノートに書いた考えをより多くの子に伝えるために、実物投影機で拡大表示する。

タブレットPCを別教室に全台移動しても、PC教室同様の活動が可能である。

学校長より:福島貴美江 校長

学校情報化優良校の認定を頂き、大変うれしく思います。今回の申請にあたっては、ICTの環境整備や授業を見直す良い機会になりました。本校が取り組んでいる国語の研究にもさらに有効活用していきます。

担当教員より:熊見隆生 主任教諭

タブレットPCの導入により、児童にとってPCがより身近に感じられるようになっていきます。今後は、調べ学習だけでなく、コミュニケーションツールとして実践的な活用を模索していきたいと思っています。